

「絶望の中で希望を創造する」

～パレスチナと東日本大震災の中でみつけたもの～

パレスチナの子どもたちの目には、ヒロシマが「希望」に映るといいます。いつか自分たちのこの土地も、ヒロシマのように、平和都市として復活するという「希望」をいただいているのです。そして東日本大震災の被災地でも、深い痛みの中にある人々が寄り添い合い、あきらめることなく、「希望」を創り出しているのです。パレスチナと東北。「希望」というテーマでつながる人々の姿をご報告します。

◆ 講師

立野 泰博 氏

日本福音ルーテル大江・宇土教会牧師

熊本県南阿蘇出身、1960年生まれ
九州学院高等学校卒業、
日本ルーテル神学校卒業、
日本福音ルーテル東京教会牧師、
同教会事務局長等を経て現職
熊本YMCA常議員、他役職多数
著書「おはなしがいっぱい」シリーズ
「被災地に立つ寄り添いびと」他



日時 2015年2月28日(土)

13:30～15:00

会場 熊本市医師会館

熊本市中央区本荘3-3-3



◆ 入場料 無料（事前の申込が必要です）

◆ 申込方法 住所、氏名、参加人数、電話番号

を記入の上、「熊本いのちの電話」事務局にFAXでお申し込み下さい。平日午前10時から午後5時までは電話でも受け付けいたします。

FAX：096-354-4665 / TEL：096-354-4343

ご参加いただいた方には、「熊本いのちの電話」開局30周年を記念して作成いたしました小冊子『もしもし、いのちの電話です』（心がつらいとき開く本）を進呈いたします。

主催：社会福祉法人 熊本いのちの電話